



# 町長日誌 No.155

町長日誌の第155号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

**9月21日(水) PM3:00**

興部神社の例大祭に始まり沙留や各地域の八幡様の秋祭りが終わりいよいよ秋本番です。毎週のように日本列島を襲っている台風も段々北海道に近づかなくなってきました、心配された16号も今朝太平洋上に去りましたが、四国などで被害が発生しました。北海道を襲った台風被害はすっかり報道量が減り過去の事の様になっていますが、何週間も断水に苦しんだ酪農家や防除の水が無くて疫病の予防が出来なかった畑作農家、未だに片付かない浸水家屋、表土がすっかり流され来年の営農が不可能な農地、収穫した玉ねぎなどがJRの不通で輸送できないなど、未だに災害から通常の生活に戻ることが出来ていない地域が北海道内には沢山あります。だんだん日没が早まる季節を迎え、萎える気持ちをどのように支えながら明日に向かって歩き続けるのか？ 災害は私たちの生活を長期間にわたって蝕むものと言うことを忘れてはならないのです。興部神社をはじめ各地のお祭りに出席させて頂き、町を守って頂き、小さな被害で収まった事への感謝をお祈りした私でした。

**8月17日(水)~23日(火)**

台風7号が釧路方面に被害をもたらしましたが、本町にはあまり影響はありませんでした。日付が20日になって降り出した雨は自治会主催の町内対抗パークゴルフ大会が中止になるぐらい降り続けました。これは台風11号の前段の前線通過によるもので1日中雨は降り続き、深夜には興部川の水位も4mを超え、避難も検討しましたが雨雲レーダーなどの情報から雨が弱まり潮位も引き潮となるので朝まで様子を見ました。明けて21日は雨も上がりましたが、朝6時には興部川の水位は避難判断水位5.74mを超える5.86mまで上がりました。21日は日曜日でしたが、午前8時半に副町長らと打ち合わせを行い、午後1時半に管理職員を全員招集して、迫りくる台風11号の状況によっては対策本部の立ち上げも視野に入れて職員全員に自宅待機を指示しました。これは興部川の水位が高いため万が一を想定しての処置でした。同時にきらりと沙留公民館を避難所として午後5時から開設し、不安な住民の方やお身体の不自由な方で希望する方が避難出来る様にしました。幸いなことに、台風の影響は殆どありませんでした。22日は、降ったり止んだりの1日でしたが、台風9号が近づくとつれ、夜半から雨脚が強まり23日の朝にかけて大雨となりました。しかし、この時は沙留から豊野方面にかけての雨が特に強く、豊野から沙留へと続く国道238号線の道路横断管で雨水が呑み込めず、牛舎などに水が迫る状況でした。特に朝5時ごろから8時ぐらいまでは町民の方から「浸水の恐れがある！」等の電話が鳴り続き、職員がありがたげの排水ポンプを持って対応し続けました。残念なことに1戸が床上浸水となりましたが、他の住居や牛舎などは何とかぎりぎりでも免れました。有り難い事に雨も午前10時頃には上がり、浸水の対応はひとまず一段落したのですが、豊野地区の水道で水漏れが発生し断水せざるを得なくなりました。山から流れる雨水、畑の配水管から出る水などに邪魔をされ、夕方まで水道管の破損場所が見つからず、豊野地域の皆様に大変なご迷惑をお掛けしましたが、暗くなる前に破損場所を見つけ、午後11時までには管の接続工事を終えました。しかし、実はこれからが大変で、破損箇所から入った泥水が管の中にたまっていますので、これを吐き出す作業と同時に空気も管の中にたまと水が出ないので、これを順番に抜く作業をしなければなりません。この作業が朝方の2時頃には終わり、何とか朝の搾乳作業に間に合わすことが出来ました。この様に、一旦水道管が破損すると、場所が分かれば復旧も早いのですが、大雨災害などでは場所の確認もままならず、道路が流されていけば近づけない場合もあります。本町でも、平成10年9月15日の大雨災害で、二興橋下流に敷設されていた導水管が流され復旧にかなりの日数を要して、自衛隊による給水を受けた事が思い出されます。これが、1週間の台風との戦いの主な内容です。幸いにも「災害対策本部」の立ち上げには至らず、避難勧告・指示などは出さずに済みました。しかし、近年は集中的な雨や雪の降り方をします。今回も前半は興部市街側で多く雨が降り、後半では沙留側に多く降りました。どうか、自分の家の周りを点検して大雨などの時にどの様に自衛したらよいか？ を日頃からそれぞれがお考え頂きますようお願いを致します。

台風被害により遅れていた二番牧草の収穫作業が悪戦苦闘しながらなんとか終わりそうです。サケ漁も時化により大幅に操業が遅れていましたがまずまずのようです。マス漁は思いもかけぬ豊漁と高値でしたが台風による破損被害も多いようです。一方、台風災害は観光にも思わぬ影響を及ぼしていて、ホテルなどでのキャンセルが相次いでいます。勿論、玉ねぎやジャガイモ、ポテトチップス、サラダなどに使うスイートコーンなど野菜類はすでに値上げが相次いでいますし品薄になっています。JRの運休で高速バスが常に満席とか？ 普段自然とあまり関係ないような生活をしているように思う私達ですが、台風がひと暴れするとたちまち生活に支障が出てしまいます。やっぱり、自然に対する畏敬の気持ちを持たなければいけないと思う今日この頃です。ただ、悪い事ばかりではないようです。この天候でキノコの生育が良いと聞きました。自然に感謝して、秋の味覚を楽しみましょう！ では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。